指定管理者制度導入施設の運営状況（令和７年度）

１．施設名等

施設名	大分港大在コンテナターミナル	所在地 電話番号 ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ	大分市大字大在６番地 097-592-5931 http://www.oitac.jp/

２．指定管理者および県の所管部課（窓口）

指定管理者	名　称 所在地 指定期間	株式会社大分国際貿易センター 大分市大字大在6番地 令和6年4月1日～令和11年3月31日	県の所管部課 （局･室）	土木建築部　港湾課 TEL：097-506-4617

３．施設の概要

設置年月日	平成９年１月２４日
設置根拠	大分県港湾施設管理条例
設置目的	大分港大在コンテナターミナルは、東南アジア、中国、韓国を中心としたアジア貨物の東九州における物流拠点として整備した施設である。平成４年４月に整備事業に着手し、平成８年１１月に供用開始した。
事業内容	①港湾施設の使用許可（工作物の設置を伴うものを除く）に関すること。 ②港湾施設の利用促進に関すること。 ③港湾施設の維持管理及び修繕に関すること。 ④①から③のほか、港湾施設の設置目的を達成するために必要な事業に関すること。
施設内容	倉庫1棟(2室)、マリンハウス1棟(研修室、休憩室、便所)、ガントリークレーン2基、警備員詰所1棟、トラックスケール1基、冷凍コンセント56口、照明設備5塔、受変電所1棟、保安設備1式
使用料等	【使用料（例）】 ガントリークレーン（1時間以内）：1基　27,000円 荷さばき地（15日以内のとき）：1日　3.34円/㎡ 岸壁（総トン数50トン以上の船舶）：1トン1回　4.03円 倉庫：１日　11.9円/㎡ 冷凍コンセント：1時間1口　320円 トラックスケール：1回　380円
閉館日	年中無休（365日・24時間フルオープン）

４．目標指標の達成状況

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
安全管理率(%)	令和4年度	100	100	100.0%
新規獲得貨物数(TEU) / 企業訪問数(社)		500 / 50	149 / 32	29.8% / 64.0%
安全管理率(%)	令和5年度	100	100	100.0%
新規獲得貨物数(TEU) / 企業訪問数(社)		500 / 50	151 / 37	30.2% / 74.0%
安全管理率(%)	令和6年度	100	100	100.0%
新規荷主開拓数(社) / 企業訪問数(社)		7 / 50	7 / 75	100.0% / 150.0%
安全管理率(%)	**令和7年度**	**100**	**100**	**100.0%**
新規荷主開拓数(社) / 企業訪問数(社)		**7 / 50**	**24 / 64**	**342.9% / 128.0%**

５．施設の利用状況

コンテナ取扱量※（外貿及び内貿）（TEU）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
令和4年度	5,966	6,000	6,260	6,572	6,377	4,907	
令和5年度	5,371	5,974	6,660	6,873	5,557	7,014	
令和6年度	6,471	6,044	6,052	5,359	5,074	6,030	
令和7年度	**6,390**	**6,920**	**6,282**	**6,799**	**6,297**	**5,964**	
年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
令和4年度	6,715	5,862	5,471	5,242	5,647	5,488	70,507
令和5年度	6,613	5,891	6,160	5,622	6,350	6,608	74,693
令和6年度	6,477	6,070	6,686	5,058	5,986	6,001	71,308
令和7年度	**5,908**	**6,234**	**5,113**	**5,513**	**5,546**	**6,929**	**73,895**

６．利用者満足度調査等の実施状況

利用者満足度調査	実施方法	「大分港大在コンテナターミナル連絡調整会議」にて、港湾利用業者から要望等の聴き取りを実施する。
	実施結果	指定管理者、コンテナターミナル利用者（鶴崎海陸運輸(株)、日本通運(株)）と大分県で連絡調整会議（令和7年7月29日）を開催し、照明設備の更新等の要望が出された。 また、後日、荷役業者を通じて危険物を保管できる施設の設置要望が出された。

利用者等からの主な意見・要望・苦情	左の対応状況
ヤード内の照明設備について、老朽化が進んでいる。LED化も含めて対応を検討してもらいたい。	ソーラスフェンス沿いの保安照明については、R7年度に更新工事を実施。LED化については、新たに造成しているふ頭用地の証明と合わせて検討する。
危険物を輸出するための保管場所をヤード内に整備してほしい。	保管施設を設置するための法令手続きや、消防局への許可手続きが令和7年度中に完了。その後、整備のための工事を発注済み。（R8.8月完成予定）

７．サービス向上に係る主な取組内容

サービス提供体制の強化	○ 施設の性能検査や日常点検、月例点検、年次点検を確実に行い良好な状態に維持管理した。特にガントリークレーンの修繕は、通常荷役に支障ないように常に1基が使用可能な状態を維持した。 ○ 「大分県ポートセールス実行委員会」と連携したセミナーを県内と東京で開催し、大分港大在コンテナターミナルを利用した際の助成制度のPR活動を行った。 ○ 大分港大在コンテナターミナル連絡調整会議を行い、利用者から直接意見の聴取を行い、意見や要望を解決できるようにサービスの向上に努めている。
イベント等の充実	○ サービス改善提案事業として「大分港大在コンテナターミナル夏休み親子教室」を開催し、保護者と児童の40組110名が参加した。 ○ 小学生の社会見学やインターンシップ、企業向けの施設見学を47件受け入れた。

８．管理に係る収支の状況

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	**令和7年度**
収入額（A）		56,386	58,539	57,342	58,054
内訳	県からの委託料	53,593	52,347	56,792	57,504
	利用料金				
	事業収入		550	550	550
	自主事業収入				
	その他（○○、○○）	2,793	5,642		
支出額（B）		54,187	54,365	58,852	58,577
内訳	人件費	21,168	22,830	25,311	25,068
	維持管理費	22,426	21,255	22,492	22,246
	事業費				
	自主事業費				
	その他（○○、○○）	10,593	10,280	11,049	11,263
収支差額（A－B）		2,199	4,174	−1,510	−523

９．施設使用料等の収入状況

	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用料金（千円）	令和4年度	6,121	6,014	5,865	6,107	6,035	5,599	
	令和5年度	6,034	6,286	6,633	6,802	6,098	6,679	
	令和6年度	6,743	6,398	6,537	6,252	5,753	6,334	
	令和7年度	7,210	7,714	7,329	7,792	7,562	7,240	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	令和4年度	6,670	6,006	5,975	6,160	5,721	6,135	72,408
	令和5年度	6,439	6,039	6,171	6,214	6,287	7,003	76,685
	令和6年度	6,592	6,459	6,918	6,063	6,549	6,828	77,426
	令和7年度	7,155	7,289	6,525	7,003	7,253	8,143	88,215

１０．指定管理者の管理体制

施設管理体制	統括管理者（１・嘱託職員）　　総務スタッフ（2・正規職員） 技術スタッフ（2・正規職員）							
	職員数 （R7.4.1）	正規職員	パート	嘱託	他社から派遣	臨時職員	その他		合計
		4		1					

１１．適正な管理運営に係る主な取組内容

職員の資質・能力の向上	技術スタッフの育成には力を入れており、1級コンテナクレーン運転資格などコンテナターミナルの運営管理に必要な資格を取得させている。
防災に関する研修・訓練	11月6日に防災訓練（地震と津波）を実施するとともに、避難はしごを使用した訓練も実施している。
安全対策等	「大分港大在コンテナターミナル安全作業基準」の遵守を徹底させるとともに台風災害や設備事故には、緊急連絡網を活用し、適宜、適切な措置を講じられるよう体制を整えている。